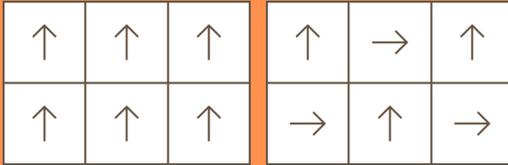


# 設置のしかた

## 1. 下準備

設置の前に、床のゴミやホコリをきれいに掃除します。

## 2. 設置



流し張り

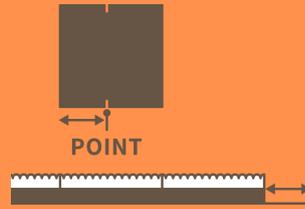
市松張り

壁面など目立たない場所でカット施工をする為、入口から奥に向かって敷きます。この時、裏面矢印の方向を確認し、流し張り、または市松貼りを基本に設置して下さい。

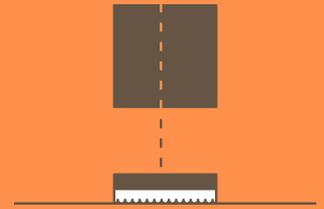
★全面敷きではない場合など、床材によってはズレが生じることがあります。気になる場合は、カーペット用滑り止めシールをご購入いただき、固定してください。

★全面敷きではない場合など、断面が見える設置は、端を蹴り上げたりして、破損やはがれの恐れがあります。気になる場合は段差スロープをご購入ください。

## 3. カット施工



①カットするサイズを測り、カーペットの裏面に印をつけます。カットした面が壁に沿うよう、矢印の方向に注意して下さい。



②ダンボール等を下敷きに、印に定規を当てカッターでカットします。この時、数回に分けて切ると、綺麗にカットすることができます。



③カットした面が壁に沿うようにはめ込みます。



# ご使用上の注意

## 設置の際に

- ・開梱時に樹脂臭が発生することがあります。時間が経過すると弱くなりますが、気になる場合は換気を行ってください。
- ・Web画面上の色や柄と、実際の防音カーペットの見え方は光の加減などにより異なる場合がございます。
- ・本製品は室内以外では使用しないでください。
- ・床の結露、または、絶えず湿気が高い場合は、カビや臭気が発生する原因となります。床が結露しないよう、床下換気を十分行った後に設置してください。
- ・長時間敷いたままのご使用や、床材（塩化ビニル、ワックスかけ後のフローリングなど）によっては裏面樹脂が付着したり、床が変色する場合があります。月に一回程度、カーペットの位置を移動させたり、床面を拭いてご使用ください。
- ・床暖房の種類によっては、ご使用いただけない場合があります。お使いの床暖房の取扱説明書をご確認ください。場合によっては製品・床材の変色などが起こることがあります。長時間敷いたままでのご使用はさけてください。

## 長くお使いいただくために

- ・詳しいお手入れ方法はHPをご覧ください。
- ・直射日光や、空気清浄機などのオゾン、窒素酸化ガスなどの影響により、パイル糸が変色、変形する可能性があります。
- ・ゴム製品や塗料、防腐剤、防虫剤、強い作用を持つ洗剤、漂白剤、毛染め剤などの影響で、パイル糸が変色、変形する可能性があります。
- ・防音カーペットのはがれ、反り、膨れなどが生じた場合は直ちに補修してください。つまづいて転倒する恐れがあります。
- ・防音カーペットを保管する場合は、汚れを十分に取り除いた後、製品を表同士・裏同士に交互に重ねて収納し、直射日光が当たらず、湿気のない平らな場所に保管してください。
- ・年に1回は裏返しにして屋外で半日ほど陰干しを行い、裏から叩いてゴミやホコリを落としてください。
- ・本製品を廃棄する際は、各自治体の廃棄に関するルールに従い、適切に処理してください。（多くの場合、そのまま袋に入れて可燃ごみとして出すことができます。）